

# 平成28年度 事業報告書

平成28年4月 1日から

平成29年3月31日まで

学校法人 善き牧者聖母学院

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 善き牧者聖母学院（昭和61年3月31日法人設立）

代表者 理事長 津田 玲子

住 所 大阪府豊中市春日町3丁目8番15号

電 話 06-6857-8151

F A X 06-6854-6990

設置する学校

住 所 大阪府豊中市春日町3丁目8番15号

名 称 春日荘聖マリア幼稚園

役 員

理 事 6名 監 事 2名

評議員 13名

理事会 3回開催 評議員会 3回開催

教職員 14名

## 2. 事業の概要

（ 春日荘聖マリア幼稚園 ）

《教育方針》

キリスト教的愛の精神に基づき、心のきずなど優しい思いやりをはぐくみ、大切な体と自立の精神を養い、豊かな知性を育成する。

《教育内容》

モンテッソーリの教育理論を取り入れた保育内容、3・4・5歳児による縦割り学級を編成し、各クラスは二名の教員が担当する。子どもの自由な活動を大切にしつつ、集団での保育も行い、自立と自主の心を育てる。

	3歳児		4歳児		5歳児		ク ラ ス	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	0	50	0	55	0	60	6	165
27年度	0	43	0	50	0	42	4	135
28年度	0	41	0	49	0	50	4	140
29年度	0	45	0	45	0	47	4	137

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時

《納付金》

保育料 年額300,000円（12分割均等納付）

給食費 週2回 1食380円（1ヶ月申込数分）

通園バス費 月額3,500円

冷暖房費 3,500円（7月）

教材費 3,600円(年間)

《入園時の費用》

入園料 70,000円

検定料 2,500円

《預り保育の時間及び費用》

月～金曜日 午前8時から午後7時まで(保育時間を除く)

午前8時～午前9時 200円

午後2時～午後5時 600円

午後5時～午後6時 200円

午後6時～午後7時 200円

《行事予定》

マリア祭、星まつり、スポーツデイ、遠足、七五三のお祝い、バザー、クリスマス  
の集い、「成長のあしあと」発表会、作品展、お別れ遠足

《施設関係》

園地面積 2,655㎡ 運動場面積 1,156㎡

鉄棒を設置。図書室窓の改修工事を実施。運動場に電波時計を設置。

《設備関係》

パソコンを取得。スクールバスを更新した。

《事業報告》

平成28年度の事業は、前年度より園児が5名増加し、保護者の協力を得て役職員の真摯な努力により、着実に運営することができた。

平成27年度4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、新制度移行が進み、大阪府発表によると平成29年度は271園が私学助成となる。当園は、私学助成を継続している。

さて、幼児教育無償化の一環から、就園奨励費(上限308,000円)の拡充が進み、第2子半額、第3子全額が普及しているが、特に大阪市は、平成28年度より5歳児、平成29年度より4・5歳児の保護者を対象に収入にかかわらず、就園奨励費の上限(308,000円)まで支給することとした。12ヵ月均等納付の場合、1ヵ月25,700円となる。

新制度への移行の場合、給食費、上乗せ徴収費を保護者負担以外に徴収することになるので、私学助成と支払額に差が発生する場合があるので、慎重に対応していくこととする。

また、保育士不足の解決策の一環から、本年10月より育児休業期間が最大2年間に拡充される等から、0歳児1歳児の保育所受入を抑制し、2歳児の受け入れに誘導されることになる。小規模保育施設(定員19名)の普及が広まっているが、3歳児からの連携施設が必要であるので、開園時間等受入体制を整え、連携施設として整備することが求められている。当園としては、新制度への移行はせず2歳児の受け入れを積極的に実施し、私学助成を継続していきたい。

一方、採用難が常態化しているが、教諭免許、保育士資格に拘らず、預り保育及び特別支援児への対応をパート・契約職員を積極的に採用し、教諭が本来業務に専念できるよう働き方を見直すこととすると共に、教育実習の積極的な受け入れ、養成校と提携する等採用方法の見直を進める。

自己評価については、確実に実施し公表している。また、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で検討し内容を別紙のとおりまとめた。内容を精査・検討し新年度の評価項目を策定することとした。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が96,369千円、教育活動支出計98,262千円、教育活動収支差額1,893千円のマイナスとなり、本業は厳しい経営状況になった。

また、人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、66.08%となり、前年度より上昇した。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

また、当年度の卒園児は47名であるので、同数以上の園児確保を目指す。

### 3. 財務状況

別紙参照。